月刊 西村くにこ
県政報告
NO. 54
発行日：令和7年（2025年）9月14日　通算第54号

ご意見、ご感想をお聞かせください。
電　話：045－210－7630　ＦＡＸ：045－210－8912
メール：925@nishimura-kuniko.com
発行者：西村くにこ
連絡先：横浜市中区日本大通り１番地



［プロフィール］2011年神奈川県議会（川崎区）に初当選。現在、４期目。総務政策常任委員会副委員長／公明党神奈川県議会議員団団長／社会福祉法人川崎いのちの電話評議員／防災士／骨髄バンクドナー登録説明員／認知症サポーターキャラバンメイト／こころサポーター（メンタルヘルス普及促進）／心のバリアフリー推進員（障害者理解促進）／保護司

やると言ったら、やり切る。

多くの方から寄せられる「こうだったらいいのに」「こんなことで困った」との声を行政につなぎ実現させる。ときに時間がかかることもありますが「やると言ったら、やり切る。」との思いで取り組んでいます。今回の県政報告では、昨年度の本会議や委員会質疑を経て、声がカタチになったものをご紹介します。



代表質問に登壇する西村くにこ

災害用トイレカーを整備

昨年６月の防災警察常任委員会での提案が実り、避難所の生活環境の向上に有効なトイレカーが１０台導入されます。県内での局所災害に迅速に投入するとともに、大規模災害時は全国の自治体間での相互応援体制の確立も目指します。１０台装備は全国最多。



災害用トイレカー（出典：宇和島市資料）

消防学校の老朽化対応

昨夏の神奈川県消防学校視察後、施設の老朽化を質問。その結果、今年度予算で「消防学校備品等更新事業費」の３か年計画の更新・整備事業が決定し、今年度は洗濯機やベッドが更新されます。昨年４月、過去最高の３０名の女性が初任教育生として入校し、今後の活躍が期待されます。西村くにこは、女性のニーズに応えるためにも、個室化など、さらなる環境整備について検討するよう求めました。



ケアマネ不足に待った！

介護支援専門員の負担軽減策を推進

介護支援専門員（ケアマネジャー）の不足が深刻化しています。その原因は、資格取得希望者が少ないことや、業務の負担が大きいことです。特に、膨大な事務作業、重い責任、低い給与、そして高額な研修費用がかかる５年ごとの資格更新制度が問題とされています。この状況に対し、県は国と連携しながら、介護職員の労働環境改善に乗り出しました。



介護ロボットを無料貸出！

介護職員の負担を減らすため、県は介護ロボットやＩＣＴの導入を支援しています。費用負担なしで試せる相談窓口や、ロボットの貸し出しも行っています。

また、介護支援専門員の法定研修受講料（最高７万５４００円）を１万円軽減する事業も開始しました。

介護生産性向上総合相談センター
☎045・662・9538

介護支援専門員法定研修負担軽減事業

目的	県内において介護支援専門員として従事する介護支援専門員の確保・定着
負担軽減額	研修受講料を１０,０００円軽減
対象者	神奈川県が指定・委託する研修機関の法定研修を令和７年度以降に修了し、県内事業所で介護支援専門員として働いていること

※未就労者については、研修修了後３か月以内に県内の事業所で介護支援専門員として従事した場合、対象となります。
※神奈川県以外で登録されている方も対象となります。

福祉子どもみらい局地域福祉課
福祉介護人材グループ
☎045・210・4768